

第3章 保健医療圏

第1節 保健医療圏の設定の基本的考え方

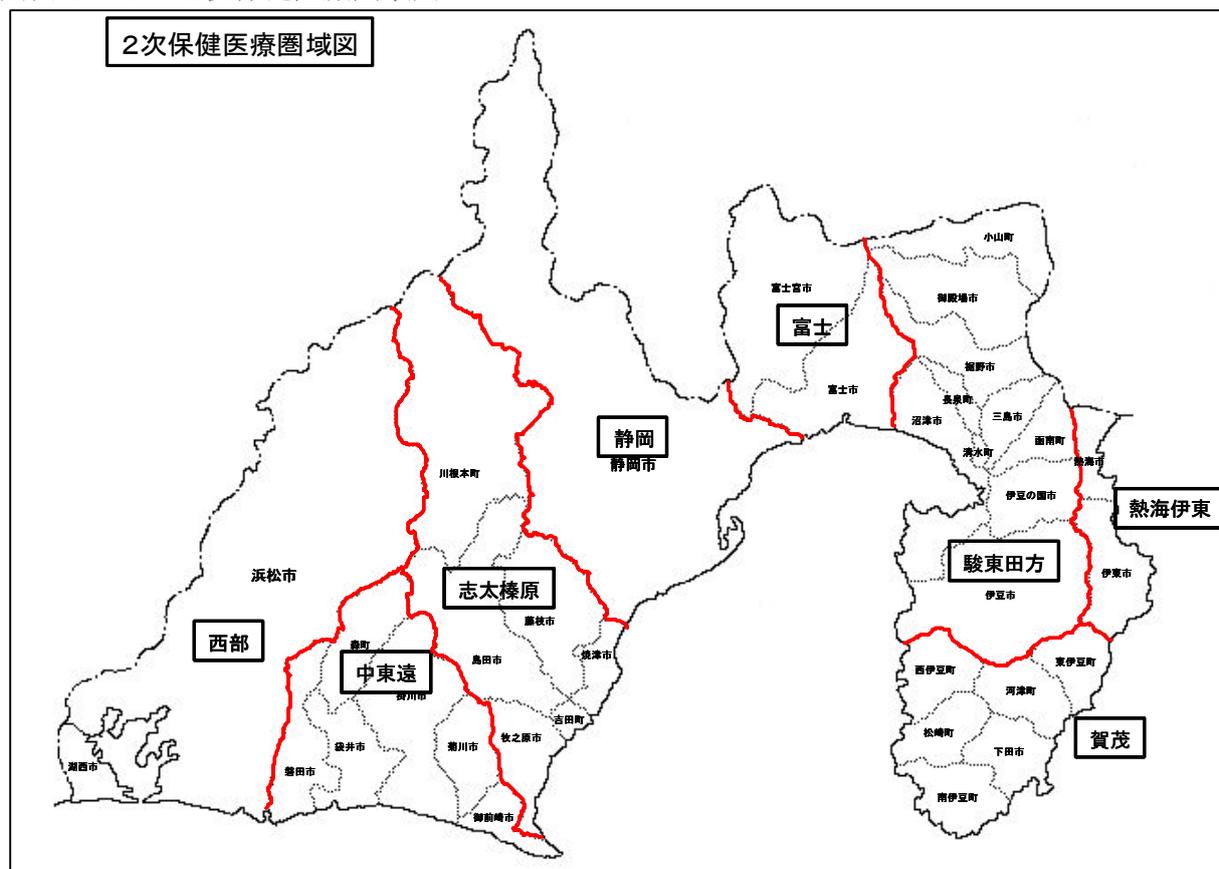
- 県民が生涯にわたり健康な生活を送れるようにするためには、県民誰もが、いつでもどこでも適切な保健医療サービスが受けられるよう、健康増進から疾病予防、健康診断、治療及びリハビリテーションに至る包括的で継続性のある医療提供体制の整備が必要です。
- このため、保健・医療・福祉の連携と施策の効果的な展開を図る地域単位として、また、限られた医療資源の適正な配置と機能連携を図り、医療提供体制の確保を図るための地域単位として、自然的条件及び社会的条件も踏まえた上、保健医療圏を設定します。
- 2次保健医療圏は、特殊な医療を除く入院医療に対応し、医療機関の機能連携に基づく医療サービスと広域的、専門的な保健サービスとの連携等により、県民に包括的な保健医療サービスを提供する圏域です。また、主として病院及び診療所の病床の整備を図る地域的単位として設定され、一般病床及び療養病床の基準病床数を設定します。
- なお、2次保健医療圏及び3次保健医療圏は、医療法等に基づき、医療計画を推進していくための区域を設定するものであり、県民の医療機関の選択等を妨げる趣旨のものではありません。

第2節 保健医療圏の設定

1 2次保健医療圏

- 2次保健医療圏の設定は、入院・外来受療動向、保健医療資源の状況、交通事情、行政機関・関係団体等の管轄区域等、社会的条件を考慮して行います。(図表3-1、3-2)
- 厚生労働省の医療計画作成指針では、「人口規模が20万人未満の二次医療圏については、入院に係る医療を提供する一体の区域として成り立っていないと考えられる場合(特に、流入患者割合が20%未満であり、流出患者割合が20%以上である場合)、その設定の見直しについて検討する」とされています。2017年5月に本県が実施した在院患者調査によると、見直し基準に該当する医療圏はありませんでした(図表3-3)。
- これらのことから、2次保健医療圏の区域は現行の通りとし、広域での対応が必要な疾病・事業については、医療資源の実情に応じて、隣接する2次保健医療圏間での連携等により適切な医療提供体制を確保していきます。なお、静岡県長寿社会保健福祉計画における、介護給付等対象サービスの種類ごとの量の見込みを定める単位となる圏域である「高齢者保健福祉圏域」とも一致した圏域としています。

図表 3 - 1 2次保健医療圏域図



図表 3 - 2 2次保健医療圏別構成市町・面積・人口

医療圏	構成市町名	面積 (km ²)	人口 (人)
賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町	583.6	65,197
熱海伊東	熱海市、伊東市	185.9	104,827
駿東田方	沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町	1,276.9	654,623
富士	富士宮市、富士市	634.0	377,836
静岡	静岡市	1,411.9	701,803
志太榛原	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	1,209.4	460,970
中東遠	磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町	831.1	465,342
西部	浜松市、湖西市	1,644.6	856,347
	合計	7,777.4	3,686,945

※面積は、2016年11月1日現在（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」）

※人口は、2016年10月1日現在（静岡県経営管理部「静岡県年齢別人口推計」）

図表 3 - 3 一般・療養病床の流出入患者割合

医療圏	人口	流入患者割合		流出患者割合	
			前回		前回
賀 茂	65,197 人	25.1%	26.0%	35.4%	37.5%
熱海伊東	104,827 人	29.3%	32.7%	38.1%	47.2%
駿東田方	654,623 人	23.5%	24.2%	11.6%	11.2%
富 士	377,836 人	10.5%	12.5%	21.3%	24.1%
静 岡	701,803 人	15.8%	16.1%	8.4%	8.8%
志太榛原	460,970 人	5.3%	6.2%	18.4%	19.2%
中 東 遠	465,342 人	8.8%	8.3%	24.7%	27.3%
西 部	856,347 人	14.2%	14.9%	9.7%	10.9%

※静岡県健康福祉部「在院患者調査（2017年5月31日）」前回は2014年5月28日に実施

※太字は、厚生労働省の定める2次医療圏の見直し基準に該当する項目（人口・流入患者割合・流出患者割合の3項目全てに該当すると、見直しの検討対象）

2 3次保健医療圏

- 3次保健医療圏は、特殊な診断や治療、先進的な技術を必要とするものや発生頻度が低い治療が困難な疾病等に関するものなど、特殊・高度・専門的な医療需要に対応するための区域であり、県全域を対象とします。

（参考）1次保健医療圏

- 1次保健医療圏は、法令上は特に明記されていませんが、住民自らが健康づくりに取り組むとともに、日常的な健康相談、住民の健康管理、疾病予防及び日常的疾病や外傷等の診断、治療、在宅医療等住民に密着した保健医療サービスを福祉サービスと一体となって提供していく基本的な区域として、位置付けできます。
- 日常的な傷病に対応する医療は、身近に受診できるかかりつけ医療機関を中心とした地域医療体制が必要です。本県では、市町の保健・医療提供体制も大きく異なることから、1次保健医療圏については、かかりつけ医等によるプライマリーケアが推進される区域を地域の実情に応じてとることとします。

第3節 基準病床数

- 基準病床数は、病床の適正配置の促進と適切な入院医療の確保を目的に、病床整備の基準として、医療法第30条の4第2項第12号の規定に基づき、病床の種類ごとに定めるものです。一般病床及び療養病床は2次保健医療圏ごとに、精神病床、感染症病床及び結核病床は静岡県全域でそれぞれ定めることとされています。
- 基準病床数の算定については、入院受療率や平均在院日数など、国が示す係数、算定式を用いて行います。
- 既存病床数が基準病床数を上回る圏域においては、原則として病院及び有床診療所の開設、増床等はできず、開設の中止、増床数の削減等の知事の勧告の対象となります。
- 本県における病床種別ごとの基準病床数及び既存病床数は次のとおりです。

1 2次保健医療圏における一般病床及び療養病床数

2次保健医療圏名	基準病床数 A	既存病床数※ B	差引 B-A
賀 茂	5 2 0	8 5 8	3 3 8
熱海伊東	8 2 6	1, 1 3 6	3 1 0
駿東田方	5, 4 7 3	6, 4 9 5	1, 0 2 2
富 士	2, 2 2 3	2, 5 4 7	3 2 4
静 岡	5, 5 6 6	6, 3 8 6	8 2 0
志太榛原	2, 8 9 2	3, 5 2 4	6 3 2
中 東 遠	2, 6 4 3	3, 0 0 8	3 6 5
西 部	6, 5 7 7	7, 4 4 4	8 6 7
計	2 6, 7 2 0	3 1, 3 9 8	4, 6 7 8

※2017年9月30日現在の既存病床数に、医療法施行規則の規定に基づく所要の補正を行った数。

2 県全域における精神病床数、結核病床数及び感染症病床数

病床の種別	基準病床数 A	既存病床数※ B	差引 B-A
精神病床	5, 3 8 8 (2020年度)	6, 7 1 9	1, 3 3 1
結核病床	8 2	1 0 8	2 6
感染症病床	4 8	4 8	0

※既存病床数は2017年9月30日現在。精神病床については、医療法施行規則の規定に基づく所要の補正を行った数。